

# 株 主 通 信

第49期中間期

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

## 目 次

ごあいさつ	1
決算の概況	2
財務・非財務ハイライト	3
三菱UFJリースグループの事業	5
TOPICS	7
配当政策について	9
会社情報／株式情報	10

## ごあいさつ

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2020年3月期 第2四半期（2019年4月1日～9月30日）の事業概況につきまして、ご報告申し上げます。

三菱UFJリースは、2020年3月期を最終年度とする中期経営計画 **“Breakthrough for the Next Decade ~今を超え、新たな10年へ~”**（以下、中計）に掲げた「成長戦略」と「経営基盤強化戦略」をグループ全体で推進しております。

中計の最終年度となる2020年3月期 第2四半期は、事業基盤の拡充・強化に向けた中計の施策を着実に実行いたしました。例えば、業界の有力プレーヤーと共にさらなる事業拡大を図るべく、国内大手電力会社と連携して、さまざまな取り組みを推進いたしました。国内では、大分市において九電みらいエナジー株式会社等と、茨城県神栖市において中部電力株式会社等とバイオマス発電事業を実施することいたしました。海外では、関西電力株式会社等と共同で英国の配電事業会社に出資参画いたしました。加えて、モビリティやデジタルの分野を中心に新たなビジネスを創出すべく、東南アジアにおいてデジタルプラットフォームを運営するGOJEKへ出資いたしました。GOJEKは、東南アジアにおいて配車、フードデリバリー、医療、娯楽等のさまざまなサービス・決済機能等の「生活インフラ」のデジタルプラットフォームを運営しています。両社が保有するさまざまな機能・知見・ノウハウの相互提供等を通じて協業を推進してまいります。

今後とも、株主の皆様からのご期待とご信頼に応えるべく、企業価値向上のための努力を重ねてまいります。変わらぬご支援とご理解を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

2019年12月

取締役会長  
白石 正



取締役社長  
柳井隆博



## 決算の概況

当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比11.5%増加の4,687億円となりました。各段階の利益は、売上総利益が前年同期比28.2%増加の977億円、営業利益が前年同期比39.1%増加の544億円、経常利益が前年同期比31.9%増加の553億円、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期比16.9%増加の382億円と、いずれも第2四半期連結累計期間の最高益を更新いたしました。

契約実行高は、航空機リース等のグローバルアセットの積み上げを主因として、前年同期比22.5%増加して9,655億円となりました。

総資産は、前期末比574億円増加して5兆8,483億円、純資産は為替換算調整勘定の減少等により、前期末比4億円減少の7,781億円、また、自己資本比率は前期末比0.1ポイント低下して12.9%となりました。

(金額単位：億円)

	2020年3月期 第2四半期	前年同期比 (増減)	前年同期比 (増減率)	2019年3月期 第2四半期
売上高	4,687	+484	+11.5%	4,202
売上総利益	977	+215	+28.2%	762
営業利益	544	+153	+39.1%	390
経常利益	553	+133	+31.9%	419
親会社株主に帰属する 四半期純利益	382	+55	+16.9%	327
契約実行高	9,655	+1,771	+22.5%	7,883

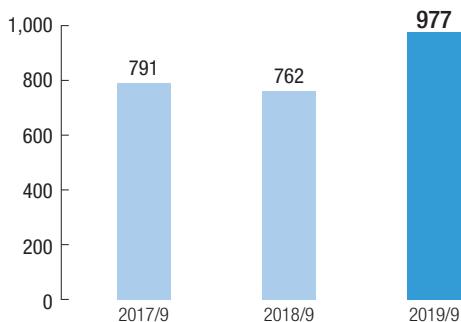
(金額単位：億円)

	2020年3月期 第2四半期	前期末比 (増減)	前期末比 (増減率)	2019年3月期
純資産	7,781	-4	-0.1%	7,785
総資産	58,483	+574	+1.0%	57,909
自己資本比率	12.9%	-0.1P	—	13.0%
営業資産残高	50,684	+219	+0.4%	50,464

## 財務ハイライト

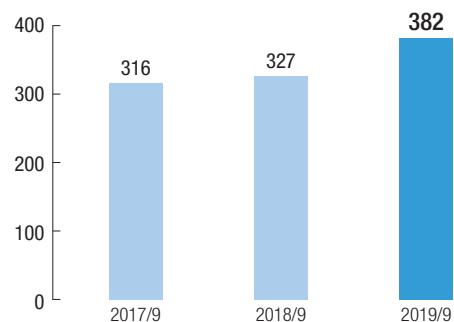
### 売上総利益

(億円)



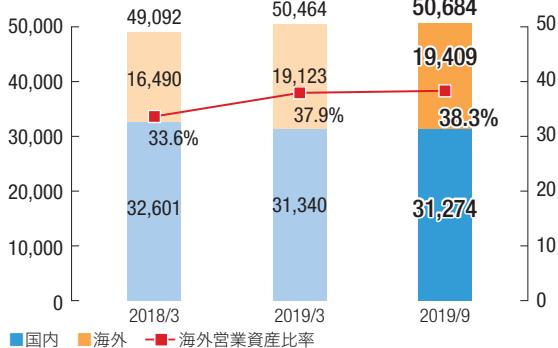
### 親会社株主に帰属する四半期純利益

(億円)



### 営業資産残高(国内外別)

(億円)



### 自己資本比率



### 営業資産残高とは

当社における営業資産残高とは、リースに係る債権や資産、割賦債権および貸付金等の総額のことです。営業資産残高は、お客さまからのリース料等の回収に伴い売上となることから、将来の売上の源泉と考えることができます。

## ■ 非財務ハイライト

### 育児休業取得者数

働き方の多様化に応じた労働環境の整備を進めています。男性社員の育児休業の取得も徐々に増加し、育児休業取得者数は2008年3月期比約10倍になりました。

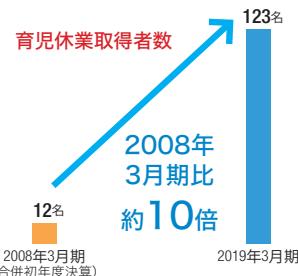
### 仕事と育児の両立支援

仕事と育児の両立を支援するため、各種制度を設けています。育児休業中の社員のスムーズな職場復帰をサポートする施策として、社内イントラネットを閲覧できるタブレット端末 (iPad) の配付や育児者座談会、復職後の支援とマインドチェンジを目的とした復職者キャリア面談やランチセッションを実施しています。

また、育児や家庭の事情に応じて勤務地の変更・選択ができる「勤務地選択制度」を設けるほか、「在宅勤務制度」や「時間単位休暇制度」など柔軟な勤務制度の活用を推進し、仕事と育児の両立と積極的なキャリア形成を支援しています。

### 「プラチナくるみんマーク」の取得

「次世代育成支援対策推進法」に基づく認定基準を満たし、社員の仕事と育児の両立支援に高い水準で取り組んでいる企業として、2017年12月に厚生労働大臣より特例認定マーク（通称：プラチナくるみん）を取得しています。



### 外部からの評価

#### FTSE Russell

社会的責任投資 (SRI) の世界的代表指数の「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に2006年より連続で採用されています。加えて、グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが開発した、環境、社会、ガバナンス (ESG) の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映する指数である「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄にも選定されています。

#### MSCI

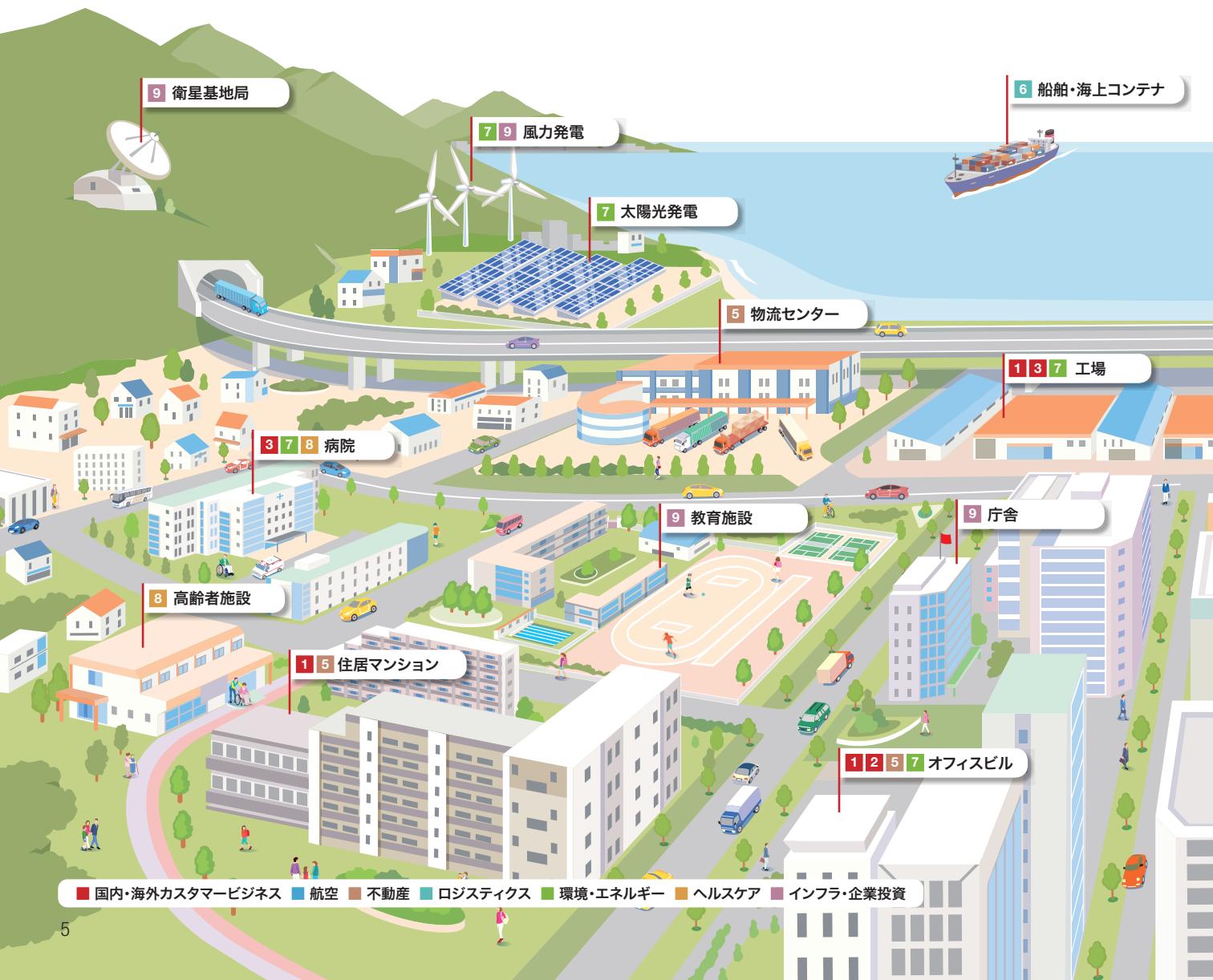
モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル (MSCI) が開発した SRIインデックスで、特にESGに優れた企業を選定する「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」および「MSCI日本株女性活躍指数 (セレクト)」の構成銘柄に選定されました。また、「MSCI ESG Leaders Indexes<sup>\*</sup>」に、当指数の算出年である2007年より連続で採用されています。



※ 旧 MSCI Global Sustainability Index Series

## 三菱UFJリースグループの事業

三菱UFJリースグループは、リース・ファイナンスをコア事業として、多彩な事業をグローバルに展開しています。



1 リース・ファイナンス

6 ロジスティクス

2 レンタル

7 環境・エネルギー

3 中古機器売買

8 ヘルスケア

4 航空

9 インフラ・企業投資

5 不動産



4 航空機・航空機エンジン



9 発電所

9 浄水場

5 商業施設

1 テーマパーク

1 5 飲食店

5 ホテル

1 自動改札

6 車両

1 6 9 鉄道車両・貨車

## 今中計におけるビジネスの進化と主な取り組み

三菱UFJリースグループは、コア事業であるリース・ファイナンスを通じて「モノ」に関する知見・ノウハウを蓄積し、強みを活かしてさまざまな事業へと取り組みの幅を広げてきました。今後も「金融と事業の融合」のさらなる進化を進め、金融の枠を超えたサービス・ソリューションをお客さまにご提供することで、企業価値の向上を目指してまいります。

### 国内・海外カスタマー ビジネス

全国に20拠点を構えるほか、国内に10のグループ会社、海外に21の拠点を有しています。お客さまの抱える課題に対し、業界や国・地域ごとの特性を踏まえながら、これまで培ってきた「モノ」に対する専門性と知見を活かした多様なソリューションを提供しています。



- 営業部店を「セクター営業部」と「エアリア営業部店」に再編
- 米国販売金融事業会社ENGSS Holdings Inc.の全株式を取得
- 東南アジアデジタルプラットフォーム運営大手GOJEKへ出資
- 株式会社U-MACHINEが中国に現地法人を設立

### 航空機

世界的な航空機需要の拡大が続く中、航空機リース、エンジンリースに加え、エンジンパーツアウトや日本版オペレーティングリースなど航空機に関する幅広いラインナップを取り揃えています。時には複数の商品を融合させながら当社グループ独自の付加価値を生み出し、お客さまの抱えるさまざまなニーズに対応しています。



- Jackson Square Aviation, LLCの保有機体数が160機を突破
- エンジンリース業務強化戦略として、INAV LLCを通じてエンジンパーツアウト事業に参入
- 国内航空機エンジン用部品メーカーAeroEdge株式会社へ出資

### バリューチェーン上の提供機能拡大

### ロジスティクス

グループネットワークや他社とのアライアンスを活用しながら、海上コンテナリースや鉄道貨車リース、船舶ファイナンス、自動車を中心としたモビリティサービスなど、マーケットで高い流通性と価値を持つアセットを扱った幅広いサービスを世界各地で提供しています。



- 海上コンテナにおいてライフサイクルを終了するアセットのリセール体制を構築
- 鉄道貨車における保有車両が1万3千両を突破(2019年9月末時点)
- 自動運転実証実験プラットフォームのシェアリング事業を開始

コア事業  
リースビジネス

## 「金融と事業の融合」の さらなる進化

### 新たな価値創造

### 収益機会の拡大

#### 不動産

顧客が希望する仕様に合わせて建物を建築し賃貸する不動産リースや、オフィスなどの収益不動産を対象とした証券化ファイナンスに加えて、老朽化不動産の再生投資やアセットマネジメントなど、当社グループ全体で不動産に関する事業領域の拡大を進めています。



- 私募REIT「MULプライベートリート投資法人」の運用開始
- 物流不動産アセットマネジメント会社の株式会社センターポイント・ティベロップメントへ資本参画
- 米国を中心に海外での投融資を展開

#### ヘルスケア

医療機器リース、クリニックの開業支援、医療モールの運営、ヘルスケア施設に対する不動産流動化、診療報酬等債権ファクタリング、医療機器導入・経営コンサルティング、医療機器の中古販売など、ヘルスケアに関する幅広いサービスラインナップを取り揃え、複合的なサービスを提供しています。



- 再生医療ベンチャーの株式会社サイフーズに出資
- 総合病院を対象とする不動産流動化を実現
- 認知症・パーキンソン病を対象に、順天堂大学と産学連携の共同研究を開始

#### インフラ・企業投資

グローバル規模で拡大するインフラ需要に対して当社グループならではのソリューションを提供しています。国内ではPFI(Private Finance Initiative)を累計で60件受注するなど、PFI事業者の中でもトップクラスの実績を有しています。また、これまで培った経験・ノウハウを活用した企業投資事業にも取り組んでいます。



- 英国水道事業会社 SouthStaffordshire Plcへの出資
- Moray East洋上風力発電事業への参画
- 英国配電事業会社Electricity North West Limitedへ出資
- ジャパン・インフラストラクチャー・イニシアティブ株式会社(JII)での実績積み上げ
- M&Aに関するバイアウトメザニンの提供

#### 環境・エネルギー

太陽光発電を主軸とする再生可能エネルギー発電事業をはじめ、工場・ビルなどの省エネルギー化を提案するESCO (Energy Service Company) 事業、環境関連設備向けファイナンスやアセットマネジメントサービスの提供などを手がけており、創エネ、省エネ、エネルギーマネジメントなどの機能を組み合わせながら、多種多様な環境ソリューションを提供しています。



- 省エネ大賞で経済産業大臣賞・省エネルギーセンター会長賞を受賞
- 鳥取県米子市における木質専焼バイオマス発電所の開発計画へ出資
- 風力発電所「ソフトバンク秋田琴丘ウインドファーム」運転開始
- MULユーティリティイノベーション株式会社を設立

## 配当政策について

### 基本方針

当社は、自己資本充実とのバランスに留意しつつ、**継続的かつ安定的に配当を実施**することを利益配分の基本方針としています。

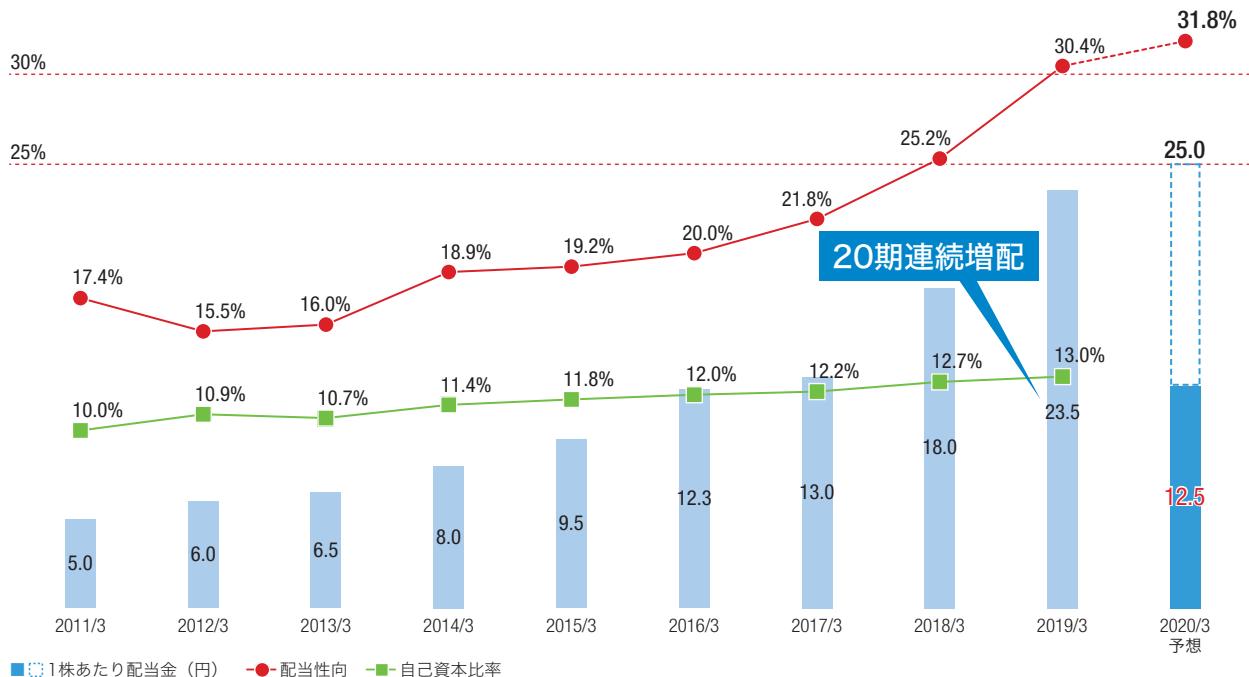
今中期経営計画期間中の目標  
配当性向**30%**を  
1年前倒して達成しました。

◆2020年3月期中間配当金

**12円50銭**

◆2020年3月期年間配当金（予想）

**25円00銭**



## ■ 株式情報

### 主な株主

三菱商事株式会社  
株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ  
株式会社三菱UFJ銀行  
明治安田生命保険相互会社  
三菱UFJ信託銀行株式会社

### 株式所有者別分布状況



※自己株式は「個人その他」に含めて記載しています。

## ■ 役員

### 取締役

取締役会長 白石正博  
\*取締役社長 柳井隆博  
\*取締役副社長 占部利充  
\*専務取締役 野々口剛  
\*常務取締役 下山陽一  
取締役 箕浦輝幸  
取締役 拝郷寿夫  
取締役 鴨脚光眞  
取締役 林尚見

### 監査役

常勤監査役 鈴木直人  
常勤監査役 三明秀二  
常勤監査役 松室尚樹  
監査役 安田正太  
監査役 中田裕康  
監査役 皆川宏

(注1) \*の取締役は執行役員を兼務しております。  
(注2) 箕浦輝幸、拝郷寿夫、鴨脚光眞、林尚見は、社外取締役です。  
(注3) 安田正太、中田裕康、皆川宏は、社外監査役です。

## ■ 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
期末配当金受領株主確定日 3月31日  
中間配当金受領株主確定日 9月30日  
定時株主総会 毎年6月  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
電話0120-232-7111 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部  
名古屋証券取引所 市場第一部

公告の方法 電子公告により行う  
公告掲載URL  
<https://www.lf.mufg.jp/>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に公告いたします。)

住所など届出事項の変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取請求、その他各種手続き	<ul style="list-style-type: none"> <li>●証券会社の口座に当社株式が記録されている株主さま 原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、お取引の証券会社等にお問合せください。</li> <li>●特別口座に当社株式が記録されている株主さま 上記三菱UFJ信託銀行にお問合せください。</li> </ul>
未受領配当金の支払	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



---

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号  
<https://www.lf.mufg.jp/>

